

児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月6日

事業所名:胆振西部児童デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		
	2	職員の配置数は適切である	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童一人一人の特性や発達状況に合わせた環境の構造化や対応方法に配慮している。不十分であるが、エレベーターや玄関スロープ、身障者用トイレ等を設置している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		建物は老朽化しているが、消毒や清掃作業を毎日の業務日課と清潔を保っている。小集団活動スペースが限られているため、人数調整に配慮し支障の無いよう行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	業務改善の為の話し合いを行っているが、話し合いの回数や具体的な取り組みは不十分である。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		面談等を通して保護者の意向を確認し個別支援計画に反映させ、希望に沿った支援を実施するよう心がけている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者むけ及び事業所の自己評価結果を書面で各家庭に周知すると共に、事業所内に掲示し、常時閲覧出来るようにしている。また、法人ホームページにも結果を公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内・外いずれかの研修会に全職員が参加出来るよう配慮している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメント表の項目に沿ってニーズや課題等をまとめ、個別支援計画作成に活かすようにしている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	事業所独自の様式を用いて実施している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「発達支援」「家族支援」「地域支援」全ての項目に於いて支援目標を設定し、目標達成に向けた支援内容を具体的に明記している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援終了後、個別支援計画書に沿って個人記録を作成し、児童の発達状況に合った支援が行われているか振り返る機会を設けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムの内容について、協議・検討する時間を設けている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月ごとの年間プログラムを作成し、活動内容が固定化しないよう配慮している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個々の発達状況にもよるが、1回の療育時間のなかで、個別活動と小集団活動の時間を設定するようにしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		小集団活動に於いて、事前に支援内容や職員の役割分担について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		短時間でも振り返りを行い、共有する機会を作っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援終了後、個人記録表に支援内容や子どもの状況等を記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、保護者にも確認して貰っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、保健師や障害児相談支援事業所担当者、併行通所している保育所や幼稚園の担当者等と連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	必要時、連携をとるようにしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、電話連絡や訪問等を実施し、情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学予定先の学校へ、児童の状況について引き継ぎを行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	今年度はコロナ禍で連携する機会がなかった。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ほとんどが保育所や幼稚園等に併行通所しているため、特に交流機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		年3～4回会議に出席し、他機関と情報共有している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別支援計画書の更新時や、必要に応じて発達状況や課題について確認している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレント・プログラムを全6回実施した。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時及び更新時に、書面を提示し説明しながら保護者に確認し同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者教室や茶話会を実施し、保護者同士の交流に努めた。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れの内容によって、児童発達支援管理責任者や支援担当者が対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月1回お便りを発行し、療育内容や連絡事項等、保護者に周知している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		わかりやすい言葉で、丁寧に伝えるよう配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは策定しているが、保護者への周知は不十分である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		震災想定3回、火事想定2回の避難訓練を実施した。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用調書に記入してもらい確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者から情報提供してもらい確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	他部署の事例についての書面を回覧し周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全職員が、法人主催の研修会に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		